

分娩入院から分娩後2時間までの生活

日時	分娩第1期	分娩第2期	分娩第3期	分娩第4期
	（陣痛開始から子宮口全開大まで）	（子宮口全開大から胎児娩出まで）	（胎児娩出から胎盤娩出まで）	（胎盤娩出から2時間後まで）
治療・薬剤	破水した場合抗生剤を使用することもあります。（内服、点滴など）			
処置	内診後、お腹の張りとお児の心音を確認する器械をつけます。	分娩後の出血の可能性を考えて点滴を入れます。	出産後に点滴の側管から子宮収縮剤を入れます。	子宮収縮・産後の出血量に問題なければ点滴を抜きます。
検査	血液検査、尿検査があります。		分娩時の傷や出血状況の確認のための診察があります	
安静度	自由です、楽な姿勢をとって陣痛を乗り越えましょう。	陣痛室から分娩室に移ります。		車椅子か歩行にて部屋へ移動します。
食事	常食です（妊娠中の症状により必要時、治療食となります）。 陣痛室では栄養補給しやすいもの（サンドイッチ、ゼリーやプリンなど）を持参して召し上がっていただいてもかまいません。特別な栄養管理の必要（無・有）			
排泄	陣痛室のトイレをご利用ください。ただし、便がしたい時は必ず、スタッフにお知らせください。			管で尿を取ります。
清潔	入浴、シャワーできます。ただし破水時はシャワーにお入りいただけません。可能かどうかはご確認ください。			
看護	定期的に何い、陣痛の状態とお児の心音を確認し、安全・安楽に分娩が出来るようお手伝いさせていただきます。母子の異常の早期発見に努めます。別紙にて看護計画を説明させていただきます。質問・要望がある際は、担当までお願いします。			
その他	陣痛が消失した場合、退院となることがあります。			

経膣分娩後の入院生活

経 過	分娩当日	分娩後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
治療・薬剤 (点滴、内服等)	腰痛・腹痛・便秘や痔の痛みなどがあれば御相談ください。					午前中 退院です
処 置	分娩後2・4・8時間で創部消毒・ナプキンの交換を行います。	1日1回子宮収縮と創部を確認します。	→		退院診察・抜糸があります。体重をはかって下さい。	
検 査					血液検査があります。	
安 静 度	分娩後2時間は分娩室ですごします。以降は、ゆっくり休んで体調を整えてください。	特に制限はありません。病院内は自由です。 (授乳・指導などで忙しくなるので、ゆっくりと休んでおきましょう。)				
食 事	産褥食になります(妊娠中の症状によって治療食となることがあります。)。 退院までに1回お祝い膳をお出しします(曜日(火か金)が決まっています)。特別な栄養管理の必要性(無・有)					
清 潔	清拭となります。	シャワー浴できます。				
排 泄	分娩2時間後は管で尿をとります。その後は子宮の収縮をよくするためにもこまめにトイレにいきましょう。					
赤ちゃんのこと	出生後、清拭、点眼と各計測を行います。分娩室で2時間後まで一緒に過ごします。	ビタミンK2γPP [®] を飲みます。	入院中1回小児科医師の診察があります。		ビタミンK2γPP [®] を飲みます。黄疸・ガスリーの血液検査をします。ご自分で赤ちゃんをお風呂に入れてもらいます。	
		体を拭きます。	→			
授乳	出産8時間以降の授乳時間から授乳を始めます。	初めての授乳の際、授乳の方法や授乳の間隔等について説明します。お部屋で、赤ちゃんの欲しがるサインに合わせ授乳しましょう。オムツの替え方・抱き方・お乳のあげ方を練習しましょう。				
患者さん及びご家族への説明	退院までの流れを説明します。母子手帳・出生届・臍をお渡しします。	授乳の方法、母子同室について説明します。	母子手帳・ガスリー検査の申し込み用紙を提出して頂きます。		退院後の生活・育児について説明します。(調乳指導も行います) 1ヶ月検診日をお伝えします。沐浴の説明をします。	母子手帳と診察券をお返しします。
看 護	子宮の収縮状態をみながら、痛みの調節をしていきます。退院後の生活上の注意点や育児についてのアドバイスをを行い、不安なく退院できるよう支援いたします。別紙にて入院時に看護計画を説明させていただきます。質問・要望がある際は、担当までお願いします。					